



# 第64期 事業のご報告

2023年3月16日▶2024年3月15日



株主の皆様へ

# TO OUR SHAREHOLDERS



代表取締役社長

荒井 新也

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚くお礼申しあげます。

ここに2023年3月16日から2024年3月15日までの第64期の事業概況についてご報告申しあげます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い、社会経済活動の正常化が進み、雇用と所得状況の改善基調が見られ、緩やかな景気回復の動きとなりました。しかしながら、円安傾向の継続やロシア・ウクライナ情勢に起因する原油などのエネルギー価格や原材料価格の高止まり、世界的な金融引き締めの影響や中国経済の不確実性など、海外景気の悪化がわが国の経済を押し下げ、リスクの影響を受け、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような状況のなか、金属製品事業につきましては、ブランドイメージ向上及び認知度向上、収益向上を目指した取組として、当社主要製品の吊クランプについて、RFIDチップ搭載吊クランプを製品化するとともに、製品の管理システム「S・M・A・Я・T」の開発を進め、これら二つのデジタル技術の組み合わせにより、安全かつ効率的な資産管理を可能とする国内初のサービスの開発に取り組んでまいりました。また、販売施策においては、キャンペーンの実施やコロナ禍以前のフルスケール規模で開催された各種展示会への出展など積極的な営業活動を行いながら、社内コミュニケーション改革による各部門間連携強化により業務効率化を図るとともに、生産・販売・技術開発部門が一体となり、国内外の市場を捉えたお客様目線の製品開発に取り組んでまいりました。さらには、一気通貫の生産体制における各生産工程の改善や、当社主要工程である鍛造設備改修などにより、品質・生産効率向上及び生産能力増強を図りながらコストダウンに取り組んだほか、令和5年6月受注分より製品の価格改定を行うなど適正な利益確保に努めてまいりました。

一方、環境関連事業につきましては、依然として継続する厳しい事業環境のなか、太陽光発電所の施工などに注力しながら、収益確保に努めてまいりました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は5,853百万円(前期6,981百万円)となりました。また、利益面につきましては、販売・流通体制の強化と効率的な生産体制の推進及びコスト削減に努めましたが、原材料や仕入価格の上昇による影響などにより、営業利益は428百万円(前期523百万円)、経常利益は446百万円(前期538百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は305百万円(前期364百万円)となりました。

以上の業績内容を踏まえ、当期末の配当金につきましては、2024年6月10日に1株につき35円をお支払させていただきます。この結果、当期の年間配当金は、中間配当金35円と合わせ、1株当たり70円となりました。

株主の皆様におかれましては、何卒格別のご理解をいただき、倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月



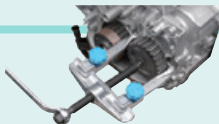
## 金属製品事業

国内市場では、作業工具の分野において、豊富なラインナップにより、様々な機械のメンテナンスに適したプーラ類が底堅く推移いたしました。また、産業機器の分野については、作業性と安全性を兼ね備え、あらゆる荷役作業に対応した吊クランプ類が効果的な販売施策により堅調に推移いたしました。

海外市場では、国内市場同様、主力製品の吊クランプ類の販売に注力するなか、当社の主要市場である韓国において、建設業界低迷により売上高が影響を受けましたが、造船関連分野の売上高が順調に推移しました。その他の地域においても、市場分析による販売戦略を進め、お客様より品質及び作業性と安全性の高評価をいただき、売上高が順調に推移しました。

一方、依然としてエネルギー価格や原材料価格の高止まり状況が続いておりますが、原価低減活動を進めるとともに、製品の販売価格につきましても価格改定を実施し、適正な利益確保に努めてまいりました。

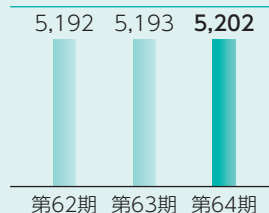
これらの結果、当事業の売上高は5,202百万円(前期5,193百万円)、セグメント利益は748百万円(前期824百万円)となりました。



ギヤープーラ

### 売上高

(単位：百万円)



売上高構成比  
88.9%

### 主要製品

#### 作業工具：

レンチ、スパナ、プライヤ類・  
配管工具類・プーラ類

#### 産業機器：

治工具類・吊クランプ類・  
クレーン類・マグネット類



## 環境関連事業

環境関連事業の取り巻く状況は、自然環境への配慮や設置コスト、発電効率面で優位性のある水上設置型太陽光発電所の施工及び関連部材の販売に努めてまいりました。依然として継続する厳しい事業環境であり、安定した収益確保は難しいものの、引き続き少数精鋭での筋肉質な事業体制を目指し、手掛けるべき案件の見直しを進めてまいります。なお、売電部門では、3カ所の発電所が順調に稼働しており、収益の安定化に寄っています。

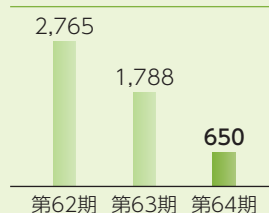
これらの結果、当事業の売上高は650百万円(前期1,788百万円)、セグメント利益は79百万円(前期94百万円)となりました。



水上太陽光発電

### 売上高

(単位：百万円)



売上高構成比  
11.1%

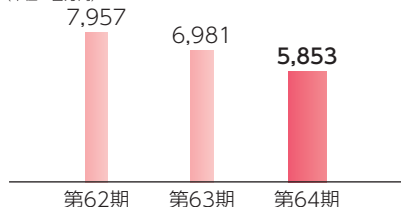
### 主要事業

太陽電池モジュール及び関連機器の販売、電気工事事業、管工事事業、太陽光発電システムの設計・施工、売電事業など

## 業績ハイライト

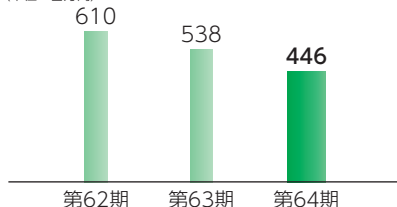
### 売上高

(単位：百万円)



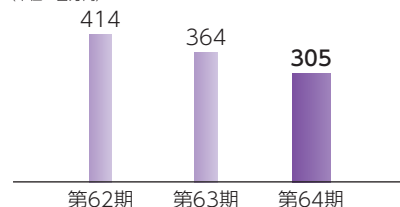
### 経常利益

(単位：百万円)



### 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当期末 2024年3月15日現在	前期末 2023年3月15日現在
<b>資産の部</b>		
<b>POINT 01</b> 流動資産	5,716	6,670
<b>POINT 02</b> 固定資産	7,386	6,312
有形固定資産	6,289	5,769
無形固定資産	100	56
投資その他の資産	995	486
<b>資産合計</b>	<b>13,103</b>	<b>12,982</b>

**POINT 01 流動資産 953百万円減少**

現金及び預金の増加220百万円、受取手形及び売掛金の減少759百万円、前渡金の減少304百万円等により、953百万円減少しました。

**POINT 02 固定資産 1,074百万円増加**

有形固定資産のその他（純額）に含まれる建設仮勘定の増加578百万円、長期未収入金の増加426百万円により、1,074百万円増加しました。

**POINT 03 負債合計 146百万円減少**

未払金の増加60百万円、支払手形及び買掛金の減少161百万円、長期借入金の減少99百万円等により、146百万円減少しました。

(単位：百万円)

科 目	当期末 2024年3月15日現在	前期末 2023年3月15日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	984	1,045
固定負債	1,455	1,541
<b>負債合計</b>	<b>2,440</b>	<b>2,587</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	8,152	7,951
資本金	2,235	2,235
資本剰余金	1,160	1,167
利益剰余金	4,806	4,663
自己株式	△ 49	△ 114
その他の包括利益累計額	2,509	2,444
その他有価証券評価差額金	191	127
土地再評価差額金	2,317	2,317
為替換算調整勘定	1	△ 0
<b>純資産合計</b>	<b>10,662</b>	<b>10,395</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>13,103</b>	<b>12,982</b>

	第63期	第64期
自己資本比率	80.1%	81.4%
1株当たり当期純利益	157円34銭	131円64銭

**配当金推移**

1株当たり配当金推移（円）

	第61期	第62期	第63期	第64期
年間	60	60	70	70
中間	30	30	35	35
期末	30	30	35	35



## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	2023年3月16日から 2024年3月15日まで	2022年3月16日から 2023年3月15日まで
<b>POINT 04</b> 売上高	5,853	6,981
売上原価	4,145	5,191
売上総利益	1,707	1,790
販売費及び一般管理費	1,279	1,266
営業利益	428	523
営業外収益	20	30
<b>POINT 05</b> 営業外費用	3	15
経常利益	446	538
特別利益	0	0
特別損失	0	0
税金等調整前当期純利益	447	538
法人税、住民税及び事業税	158	193
法人税等調整額	△ 17	△ 19
法人税等合計	141	173
当期純利益	305	364
親会社株主に帰属する当期純利益	305	364

### POINT 04 売上高

前期に比べ1,128百万円減少しました。セグメント別では金属製品事業は9百万円増加、環境関連事業では1,138百万円減少しました。

### POINT 05 経常利益

効率的な事業活動に取り組みましたが、原材料価格や燃料価格等の上昇、売上高の減少等により経常利益は91百万円減少しました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	2023年3月16日から 2024年3月15日まで	2022年3月16日から 2023年3月15日まで
<b>POINT 06</b> 営業活動による キャッシュ・フロー	1,095	△ 432
<b>POINT 07</b> 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 615	△ 210
<b>POINT 08</b> 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 262	413
現金及び現金同等物に 係る換算差額	2	13
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	220	△ 215
現金及び現金同等物の 期首残高	1,436	1,652
現金及び現金同等物の 期末残高	1,657	1,436

### POINT 06 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動においては、仕入債務の減少161百万円、法人税等の支払額171百万円等により資金の減少がありましたが、売上債権の減少456百万円、税金等調整前当期純利益447百万円、減価償却費200百万円等により1,095百万円資金が増加となりました。

### POINT 07 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動においては、有形固定資産の取得による支出669百万円、無形固定資産の取得による支出8百万円、投資有価証券の取得による支出4百万円等により、615百万円資金が減少となりました。

### POINT 08 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動においては、配当金の支払額162百万円、長期借入金の減少99百万円等により、262百万円資金が減少となりました。



RFID吊クランプ管理システム  
「S・M・A・R・T管理アプリ」を開発、  
2024年4月より公開！

**S・M・A・R・T®**

スマート管理アプリ

RFID吊クランプ管理システム

**RFID MANAGEMENT SYSTEM**

SUPER MANAGEMENT APPLICATION  
RFID TECHNOLOGY

次世代の安全を  
支えるシステム

## 吊クランプは新時代へ。

様々な現場で、安全性が重視される時代。  
スーパーツールは、クランプの新たな管理サービスをご提案いたします。  
点検・メンテナンス状況などの情報を、無料で簡単に登録、管理。  
新しい時代の「スーパークランプ」が安全な現場作業を提案。

## S・M・A・R・T® スマート管理アプリとは

吊クランプに埋め込まれたRFIDチップを読み取り、システムに登録することで、  
点検整備状況等を1台ずつ管理できる国内初のサービスです。

## こんなお悩みを解決

クランプの数が多すぎて  
管理が難しい…

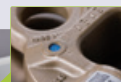
点検時期を  
忘れてしまう…

部品の品番を  
すぐに知りたい…



- チップを読み取り
- 説明書を現場で確認

ひとつひとつのクランプの状態をすぐに把握。  
安全かつ効率的な資産管理を可能にします。



- 1台ずつ整備状況確認
- 資産管理に活用



## 3つのメリット

### 安全管理を簡単に



毎回の自主点検・定期点検・  
メーカー点検をシステム上で  
確認可能。

### 資産管理を効率よく



購入した吊クランプ全て登録  
可能。直近で点検実施した  
場所の把握も可能。

### 説明書を現場で確認



RFIDチップを読み込むことで  
現場ですぐに取説・カタログ・  
寸法図を確認可能。



会社の概況 (2024年3月15日現在)

設立	1960年12月10日
資本金	2,235百万円
本社・工場	大阪府堺市中区見野山158番地
支店	大阪支店(大阪府堺市) 東京支店(東京都品川区) 名古屋支店(名古屋市中区)
営業所	札幌営業所(札幌市白石区) 仙台営業所(仙台市若林区) 新潟営業所(新潟市東区) 北関東営業所(さいたま市見沼区) 広島営業所(広島市西区) 福岡営業所(福岡市博多区)
物流センター	東部物流センター(さいたま市見沼区)
子会社	株式会社スーパーツールECO(本社:大阪府堺市) SUPER TOOL KOREA CO., LTD.(韓国ソウル市)

役員 (2024年6月7日現在)

代表取締役社長	平野 量夫
取締役	小中 渉
取締役	楠 東一郎
社外取締役	赫 高規
社外取締役委員	田中 豪
社外取締役委員	深堀 知子
社外取締役委員	大坪 洋一



株式の状況 (2024年3月15日現在)

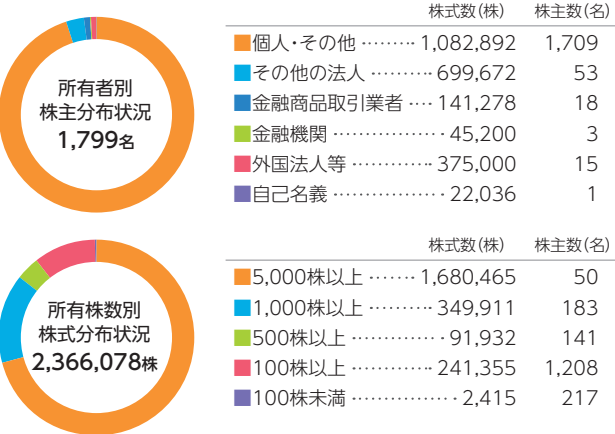
発行可能株式総数	6,000,000株
発行済株式総数	2,366,078株 (自己株式数22,036株を含む)
1単元の株式の数	100株
株主数	1,799名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD - SINGAPORE BRANCH PRIVATE BANKING DIVISION A/C CLIENTS	311	13.29
ホライズン株式会社	282	12.06
トラスコ中山株式会社	223	9.54
株式会社SBI証券	122	5.22
竈 利英	45	1.92
平野 量夫	39	1.66
川上 英之	35	1.50
株式会社池田泉州銀行	34	1.45
スーパーツール従業員持株会	31	1.36
株式会社スノーボールキャピタル	30	1.30

※持株比率は自己株式(22,036株)を控除して算出しております。

株主・株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年3月16日から翌年3月15日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月15日
中間配当金 受領株主確定日	9月15日
定時株主総会	毎年6月（事業年度末日の翌日から3ヵ月以内）
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行業部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電 話 0120-094-777（通話料無料）
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所スタンダード市場
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.supertool.co.jp/">https://www.supertool.co.jp/</a> （ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。）
単 元 株 式 数	100株

### （ご注意）

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。



## 株式会社スーパーツール

〒599-8243 大阪府堺市中区見野山158番地  
TEL (072) 236-5521(代表)

### ホームページ のご案内

<https://www.supertool.co.jp/>

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報、製品情報などさまざまな情報をご提供しています。

スーパーツール

検索



### IR情報



### 製品情報



カテゴリーや目的別に詳しい製品情報を見ることができます。またピックアップ製品としてスーパーツールがおすすめする新製品等をご紹介します。

### 動画で見るツール使用法



チラシ等のPDFや使用例の動画をご用意しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。